

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫(文、写真)、倉谷邦雄(写真)、山 國(写真)

日 時：2018(平成 30)年 6 月 7 日(木) 9:30～15:30

気 象：天候=晴 (12 時の気温：20℃)・・・近畿地方は昨 6 日に梅雨入り

活動エリア：44 林班ろ(モニタリング調査区の周辺、並びに溪流上部)

活動内容：溪流の崩壊対策、作業地内の指導標設置

林床整備(残置木の処理=玉切りと棚積み、落枝の整理) など

参加者：石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、薦田佳一、杉本佳英、武田壽夫、中久保忠伸、

宮本 廣、山 國

(計 9 名)

<特報!! 大土木工事に着手+さらなる新入会員も>

土木工事：「44 林班ろ」の中央を南に貫く溪流は最上流部付近が崩壊していて早期対策要の箇所。写真の通り地表から 2m 以上は抉れていて、川下は暫く廊下状の河床が続き、放置すれば崩壊の進行が懸念される。この森林づくりもいよいよ砂防工事に着手する時期が到来した訳である。資材も用具も人力も限られてはいるが「出来る範囲で無理なく」で進めたい。

新会員は中久保忠伸(JAC 会員)さん、前回加入の豊田さん同様の「若手」で「心強い」の 2 乗。早速「土木工事」に参加頂いた。山腹の林床整備は前日の雨で足下はズルズルと滑り易くなっている。晴天下、今日も全員意気軒昂。

報告 2 件：(1) 5/29 開催の本山寺環境保全地域に関する講演会(*)には斧田、宮本両会員が出席、鹿の食害対策に関する講演と現場観察(罾や鹿除けネット)、本山寺の秘仏拝観など。来年度は当会からの報告が期待されているとか。

(*)主催は(公社)大阪自然環境保全協会、「鹿は他の動物の排泄物の臭いも忌避する」との耳新しい話も。鹿避けネットはφ 5cm のもので良く価格は 1m 当り 1,000～2,500 円とのこと。

(2)購入用具の披露-アスファルトダンパー(地盤固め)、バチ鍬(深掘り用)、穴掘り器

<今日の成果：溪流班は石運び、林床整備班は際限ない玉切り・棚積み>

溪流班：現況を改めて確認。簡易な「木柵」を築くことにし、構築場所の決定と計測、用材(木材、石材)を集積・・・と文字にすると苦勞が伝わらない(写真をご覧ください)。何せ現場は地山から 2m も抉れている。

石を運ぶのも大仕事、伏倒した立木を切るには河床に落ちかねぬ(ザイルで身体をキープ)

林床整備班：前日の雨で緩んだ斜面、倒木・残置木はいつも通り限りがない。玉切り、棚積みは勿論、倒したままの木々は結構太い枝が密生していて、この処理にも一苦勞。今日も何とか 0.1ha を整理完了。

仕上げ：薦田インストラクターの指導による「ストレッチ体操」→写真参照

<季節の山だより>

卵 2 題：郡上八幡からは「ギフチョウ」、本山寺では溪流の蛙(鳴き声の"ゲェグェツ")はお見せ出来ないが、卵は紹介出来る)。And 今年も沢蟹のご挨拶、谷から 30m の高所。(本文 以上)

【参加9名】

後列左より：薦田、杉本、宮本、石原、斧田
前列左より：武田、倉谷、山國、中久保



【大きく抉れた溪流の上部】



【予定地点の測量】



【基礎固め用の石材を運ぶ】



【杭材も現地調達－伏倒木の伐倒】
(身体をザイルでキープし滑落を予防)



【堰堤構築位置に用材を集積】



【指導標の設置—登山道と作業道の分岐】



【山腹の林床を整備中①】



【①の作業後】



【作業後の①を見上げる】



【林床整備②—一切倒されたままのヒノキ】



【林床整備②—これを玉切りして棚積みする】



【林床整備②—何とか棚済みまで完了】



【凝った筋肉をほぐす生理体操】



【卵2題：ギフチョウの卵(郡上八幡)】



【本山寺山のカエルの卵】



【一年ぶりのサワガニ君】



【購入用具】



(左から「アスファルトダンパー(地盤固め用)」、「バチ鍬」、
「穴掘り器」)

--	--